川原 功司 Kawahara Koji

教員の教育・研究活動報告

役職／職名	教授	**所属**	外国語学部 英米語学科
ふりがな	かわはら こうじ	**生年**	
学歴	ワシントン大学言語学科留学（文部省短期留学推進制度）終了（2001年） 大阪大学文学部英米文学英語学専修　修了（2002年） 大阪大学大学院文学研究科文化表現論英語学専修　博士前期課程修了（2004年） 連合王国ヨーク大学言語学科　博士課程修了（2010年）		
学位	PhD in Linguistics [University of York] (2010年)		
研究分野	統辞論，意味論，語用論		
研究テーマ	究極的な目標は，人間言語に固有の回帰的統語演算能力の仕組みと，それがどうやって概念・意図システムと関わりを持つのかを比較生物学的な視点から解明すること。個別的には，原型レキシコン仮説に基づく統辞構造や意味の分析，およびその語用論上の役割。		

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
英語の諸相 -音声・歴史・現状-（英語コアカリキュラム対応）	単	2019年4月	名古屋外国語大学出版会	
言語の構造 人間の言葉と動物のコトバ	単	2020年2月	名古屋外国語大学出版会	
形態論と語形成（英文法大事典シリーズ第10巻）（翻訳）	共	2021年7月	開拓社	
英文法の教え方 ― 英語教育と理論言語学の橋渡し ―	単	2023年3月	開拓社	
小学生から知っておきたい英語の？ハテナ	共	2024年3月	Jリサーチ出版	

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
Non-neutrality and Setting of Standards in Degree of Change and Motion Events	単	2017年	Linguistica Brunensia 65, 103-117.	
Absolute Implications in Children's Understanding of Gradable Expressions	単	2017年	Language Acquisition at the Interfaces, Cambridge Scholars Publishing, 67-82.	
Gradable Ideophones, Scales, and Maximality in Grammar	単	2019年	BLS 44, Berkeley Linguistic Society, 115-130	
Subjective Ideophones and Their Core Meanings	単	2020年	Japanese/Korean Linguistics 26	
Turn-taking in Children with Autism Spectrum Disorder	共	2020年	Japanese/Korean Linguistics 26	
対話行為を表す機能語の獲得：自動的な処理と意識的な処理を統合したモデルの構築	共	2020年	信学技報 119(394), 93-98	
Syntax of Japanese Predicative Ideophones	単	2020年	Japanese/Korean Linguistics 27	
統辞論からみた意味順	単	2021年	明日の授業に活かす「意味順」英語指導, 39-62.	
5文型からみた意味順	単	2021年	明日の授業に活かす「意味順」英語指導, 63-85.	
指さしと相互行為（書評）	単	2021年	英文学研究第98巻，190-194頁	
The Semantics of Iconic Gestures in Ideophones	単	2022年	Japanese/Korean Linguistics 29, 209-223.	
Introducing Iconicity: The Semantics of Ideophones and the Quotative Particle	単	2022年	Chicago Linguistic Society 56, 219-232.	
主観情報入力型BERTによる発話の意味理解：自己注意の連鎖に注目した内部表現の分析	共	2024年	認知科学31巻, 205-224.	
The Sentence Final Particle Ne Does not Add Information But Contributes to Commitment: Discussion from Autism Spectrum Disorder	共	2024	Chicago Linguistic Society 59, 191-200.	
言語学からみた記号接地，問題？	単	2025年	言語処理学会発表論文集，31 1034-1038.	
AIは人間らしく話ができるか：ロボットと仲良くなるために	共	2025年	言語処理学会発表論文集，31 2301-2305.	
The Singular/Plural Contrast in Japanese: Nominal Mapping in Classifier Languages	単	2025年	Japanese/Korean Linguistics 31, 339-348.	
The Generative Second Language Acquisition and Its Implications for English Language Teaching	単	2026年	English Language Teaching: Current Issues and Future Prospects 2, 47-62, Springer.	
Evolution of Language	共	to appear	GrammarXive: Goals, Problems and Prospects, Mouton.	

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
Non-neutrality and Setting of Standards in Degree of Change	単	2016年9月	The 9th conference on Syntax, Phonology and Language Analysis, Masaryk Universtiy	
Backchannel Interjections in Human Language and Their Acquisition	単	2017年9月	Protolang 5, Universitat de Barcelona	
Gradable Ideophones, Scales and Maximality in Grammar	単	2018年2月	Berkeley Linguistic Society 44, University of California Berkeley	
形容詞における文法的統合性と比較基準の内在化	単	2018年5月	日本英文学会第90回大会，東京女子大学	招聘発表
Subjective Ideophones and Their Core Meanings	単	2018年11月	The 26th Japanese/Korean Linguistics, University of California, Los Angels	
Turn-taking in Children with Autism Spectrum Disorder: Discussion from Ne and Backchannel Interjections	共	2018年11月	The 26th Japanese/Korean Linguistics, University of California, Los Angels	
音声的強調があるイデオフォンにおける副次的な意味について	単	2019年7月	第44回関西言語学会（ワークショップ），関西大学	
軽動詞構文とイデオフォンの統辞構造分析	単	2019年7月	第44回関西言語学会，関西大学	招聘発表
A Syntax of Japanese Predicative Ideophones	単	2019年10月	Japanese/Korean Linguistics 27	
Introducing Iconicity: The Semantics of Ideophones and the Quotative Particle	単	2020年4月	Chicago Linguistic Society 56, University of Chicago	
The Evolution of Language and Lexicon: A Comparative Perspective	単	2020年5月	ELSJ 13th International Spring Forum, Kansai University	招聘発表
Forming the Mimetic Predicate	単	2021年1月	Workshop on Mimetics IV: Parameters and Mimetics	招聘発表
教育文法と記述文法の緊張関係の緩和に向けて−「意味順」を活用した句構造・設置詞の分析−	共	2021年8月	The JACET 60th Commemorative International Convention	
Subjective BERT: self-attention による「おいしいね」「おいしそうだよ」 の意味理解	共	2021年9月	日本認知科学会第38回大会	
The Semantics of Iconic Gesture in Ideophones	単	2021年10月	Japanese/Korean Linguistics 29, Nagoya University	

対話行為における分業	単	2021年10月	日本英文学会中部支部 第73回大会，愛知大学	招聘発表
シンポジウム「言語の意味研究の現在」	共	2022年6月	関西言語学会，オンライン	司会兼オーガナイザー
自閉スペクトラム症における言語の周縁事項：間投詞とジェスチャーを中心に	共	2022年8月	自閉スペクトラム症（ASD）における言語と共感，東北大学	招聘発表
日本の学校英文法と欧米の文法書の温度差－『意味順』からみた再分析	単	2023年3月	東アジア英語教育研究会，西南学院大学	招聘発表
The Sentence Final Particle Ne Does Not Add Information But Contributes to Commitment: Discussion from Autism Spectrum Disorder	単	2023年4月	Chicago Linguistic Society 59, University of Chicago	
Merging the Margin: The Syntax of Non-labelling Items	単	2023年5月	Theoretical East Asian Linguistics 13, National Taiwan Normal University	
派生形容詞の尺度について	単	2023年10月	日本英文学会中部支部第75回大会	シンポジウム「様態と結果の相補性をめぐって」の司会兼オーガナイザー．招聘発表.
The singular/plural contrast in Japanese: Nominal mapping in classifier languages	単	2024年11月	Japanese/Korean Linguistics 31, Monash University	
言語学からみた記号接地，問題？	単	2025年3月	言語処理学会第31回年次大会，出島メッセ長崎	
AIは人間らしく話ができるか：ロボットと仲良くなるために	共	2025年3月	言語処理学会第31回年次大会，出島メッセ長崎	
「意味順」で教える英語の項構造	単	2025年8月	『英語教育と英語研究の関連性を探る－文法、文学、言語研究の観点から－』，第21回英語語法文法学会セミナー，大阪公立大学 文化交流センターホール	招聘発表
The Emergence of Lexical Items through Demonstration: Evidence from Iconic Expressions	単	2025年9月	Protolang 9, University of Vienna	
Caused-Possession Entailment in the L2 Acquisition of the English Dative Alternation	単	2026年4月	The 18th Meeting of Generative Approaches to Second Language Acquisition, University of Cambridge	
言語学データの性質と応用可能性について	単	2026年5月	関西言語学会第51回大会，立命館大学	招聘発表，シンポジウム「言語学と心理学における再現性と信頼性の問題について考える」オーガナイザー
意味獲得の第二言語習得研究：段階的形容詞とスケール構造の獲得について	単	2026年7月	第二言語習得学会第26回国際年次大会，三重大学	招聘発表，シンポジウム「理論言語学，母語獲得，心理言語学から第二言語習得を考える」オーガナイザー
言語学研究における諸現象の記述	共	2026年8月	外国語教育メディア学会 (LET) 第65回研究大会，北海学園大学	シンポジウム「AI活用外国語教育の未来：GrammarXivを使って，理論言語学と教育をつなぐ」オーガナイザー
生成文法に基づく第二言語習得研究が英語教育に貢献できること	単	2026年8月	大学英語教育学会第65回国際大会，立命館大学	シンポジウム「これからの大学英語教育ー学際的協同が拓く新たな可能性ー」オーガナイザー

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
国際交流委員	2024年4月～	
教職課程委員	2016年4月～	
ワールドリベラルアーツセンター運営委員	2015年4月～	
言語情報系専門科目群のコーディネイター	2014年4月～	
3年生，4年生用英語精読のコーディネイター	2013年4月～	
オープンキャンパス委員	2014年4月～2025年3月	
教務委員	2013年4月～2026年3月	
FD委員	2013年4月～2026年3月	

主な職務上の業績

資格・免許

資格・免許の名称	取得年月	発行者・登録番号	備考
高等学校教諭第一種免許状（英語）	2002年3月	大阪府教育委員会	
中学校教諭第一種免許状（英語）	2002年3月	大阪府教育委員会	
高等学校教諭専修免許状（英語）	2004年9月	大阪府教育委員会	
中学校教諭専修免許状（英語）	2004年9月	大阪府教育委員会	

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
日本英語学会，日本言語学会，関西言語学会，大学英語教育学会，言語処理学会，アメリカ言語学会 (Linguistic Society America)，イギリス言語学会 (Linguistics Association of Great Britain)

所属学会役員歴等

所属学会及び役員名	期間（年月）	備考
日本英語学会評議員	2025年4月～現在	
関西言語学会　運営委員	2026年6月～現在	
関西言語学会　大会委員	2021年6月～2026年6月	
日本英語学会　広報委員	2013年4月～2017年3月	
日本英文学会　英文学研究編集委員	2017年4月～2020年3月	
日本英語学会　English Linguistics編集委員	2021年2月～2026年1月	

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
2010年4月1日～2013年3月31日	藤女子大学　人間生活学部　専任講師	
2010年9月1日～2013年3月31日	北海道大学　メディアコミュニケーション研究院　非常勤講師	
2011年4月1日～2012年3月31日	北星学園大学　文学部英文学科　非常勤講師	
2020年4月1日～現在	南山大学　人文学部　非常勤講師	
2021年4月1日～2022年3月31日	愛知県立大学　外国語学部　非常勤講師	

受賞学術賞

受賞事項	年月	備考
大学英語教育学会 (JACET) 褒賞（最優秀賞）	2024年8月	

日本認知科学会奨励論文賞	2025年9月	

科学研究費等外部資金採択実績

名称	題名	機関名（採択時）	年度	備考
科学研究費補助金若手研究 (B)	スケールに基づく移動動詞のアスペクトと言語類型論的一般化に関する研究	名古屋外国語大学	2014年～2017年	研究代表者
科学研究費補助金若手研究	イデオフォンにおける段階性と文法的統合性に関する研究	名古屋外国語大学	2018年～2023年	研究代表者
科学研究費補助金新学術領域研究（研究領域提案型）	共創言語進化における間投詞の意味・機能・構造に関する研究	名古屋外国語大学	2018年～2020年	研究代表者
科学研究費補助金研究成果公開促進費（学術図書）	言語の構造 人間の言葉と動物のコトバ	名古屋外国語大学	2019年度	研究代表者
科学研究費補助金新学術領域研究（研究領域提案型）	共創言語進化におけるイデオフォンの階層性と意図共有に関する研究	名古屋外国語大学	2020年～2022年	研究代表者
科学研究費補助金基盤研究(B)	感情の文法に関する学際的研究：言語学，神経科学，教育学，知能情報学の観点から	名古屋外国語大学	2024年～2027年	研究代表者
生理学研究所共同利用研究	喚情的言語における脳内メカニズムの解明	名古屋外国語大学	2024年度～現在	研究代表者
科学研究費補助金挑戦的研究（萌芽）	主観的語彙における認識と表出の研究	名古屋外国語大学	2026年～2028年	研究代表者

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
英語の諸相 1, 2	英米語学科
言語の構造	英米語学科
英語コミュニケーションゼミナールB-1, 2, 3, 4	英米語学科英語コミュニケーション専攻
英語学研究IV, V	国際コミュニケーション研究科

授業の改善と工夫

改善と工夫内容
卒業論文におけるチュートリアルの採用：チュートリアルとは，主にカレッジ制の大学で採用されている個人指導のことである．卒業論文執筆者に対し，1期には参考文献のまとめ，批評・批判を書いたエッセーを持参させ，2週間に1回程度議論の場を設けている．2期にはオリジナルの意見をまとめたエッセーを持参させ，それについて議論する機会を増やし，洗練された論文の完成を目指す．